

令和5年度鹿児島県男女共同参画審議会の会議結果の概要

開催日時	令和6年1月25日(木)午前10時00分から正午まで		
開催場所	県青少年会館 大ホール		
出席委員	石田裕子, 大迫茂子, 下古立浩, 武隈晃, たもつゆかり, 遠矢寿子, 中川路守, 永山由高, 藤原奈美, 森田啓子, 山下春洋, 吉村里美 (計12人)		
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0人
問い合わせ先	男女共同参画局 男女共同参画室 (直通電話: 099-286-2634)		
議事	1 第3次県男女共同参画基本計画の総括評価について 2 第4次県男女共同参画基本計画の実施状況等について		
会議の概要	<p>1 第3次県男女共同参画基本計画の総括評価について</p> <p>(1) 第3次県男女共同参画基本計画の総括評価報告書(案)について, 事務局から具体的内容の説明を行い, 専門部会での検討結果等について部会長から報告を行った。</p> <p>総括評価報告書については, 専門部会及び審議会で出た意見を付して公表することとなった。</p> <p>委員からの主な意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性管理職が増えない理由として, 家事・育児の負担が女性に偏っていることが, キャリア形成の阻害要因となっていると考えられる。男女ともに, ワーク・ライフ・バランスが実現できるように, 改善に向けて取り組んでいただきたい。 ・ 教育における取組は重要であるため, 性教育をはじめとする人権教育について学校がどのような内容で実施しているか把握していただきたい。また, 教育委員会と連携し, 取組を進めていただきたい。 ・ 子どもの頃から男女共同参画についての学習を充実するため, 「子どもたちの学びの広場推進事業」の実施校数を増やしていただきたい。 ・ 昨今の災害の状況を踏まえ, 平時から男女共同参画の視点に立った地域防災の推進に一層取り組んでいただきたい。 ・ 次回の県民意識調査では, 市町村毎のデータを情報提供できるような調査設計を検討していただきたい。 ・ 地域社会における男女の平等感が依然として低いことが本県の大きな課題である。男女共同参画に関する意識は浸透してきても, 地域社会においてはその意識が行動変容に繋がらない。このような問題意識を踏まえて, 第4次県計画を策定したところである。 ・ 地域社会における課題解決に向けては, ロジックモデル(施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの)分析の活用も有効と考える。 ・ 男女共同参画の視点に立った地域づくりがあまり進んでいないのではないかと。地域における課題を浮き彫りにし, 解決するための事業が少ないと考える。 <p>(2) 県男女共同参画基本計画における評価については, 専門部会での検討を踏まえ, 部会長から, 「計画に基づく関連施策の実施に当たり男女共同参画の視点が, より確実に反映されるよう, 進行管理や評価のあり方の見直しを行うべき」という趣旨の意見があり, 来年度の審議会で新たな評価のあり方を検討する専門部会を設置した上で, 検討していくこととなった。</p> <p>2 第4次県男女共同参画基本計画の実施状況等について</p> <p>第4次県男女共同参画基本計画の実施状況等について事務局から報告を行った。</p> <p>また, 県基本計画の数値目標のうち, 既に目標を達成したもの, あるいは目標年度に到達したものの見直しについて事務局から説明を行い, 委員から了承を得た。</p>		